Nipponham Group
人輝く、食の未来

決算説明資料

～2015年3月期　第1四半期～

説明会開催予定日
２０１４年８月４日（月）
日本ハム株式会社

目　次

Ⅰ．2015年3月期　第1四半期連結業績の総括

Ⅱ．2015年3月期の見通し

Ⅲ．2015年3月期　第1四半期財務データ

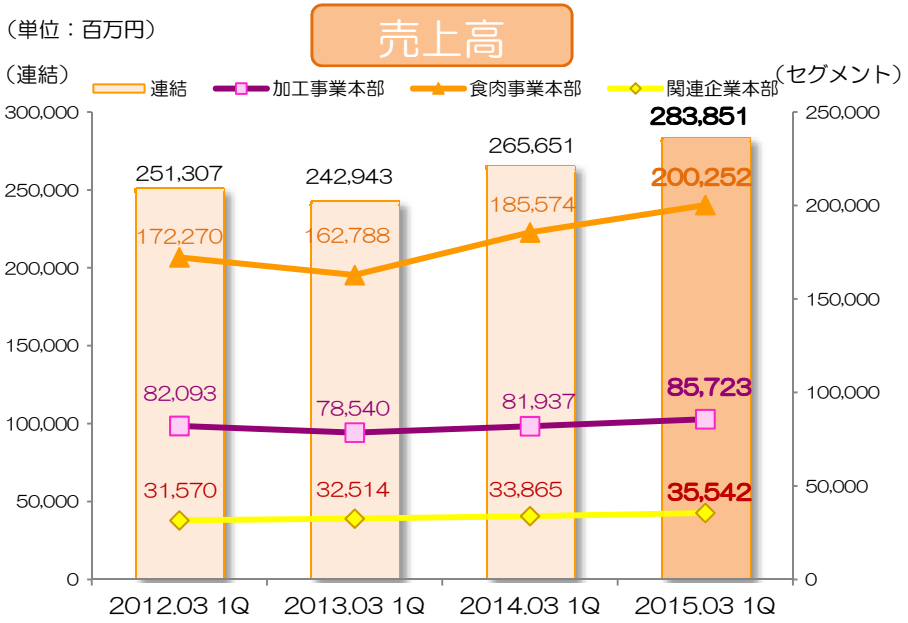
Ⅰ．2015年3月期　第1四半期連結業績の総括

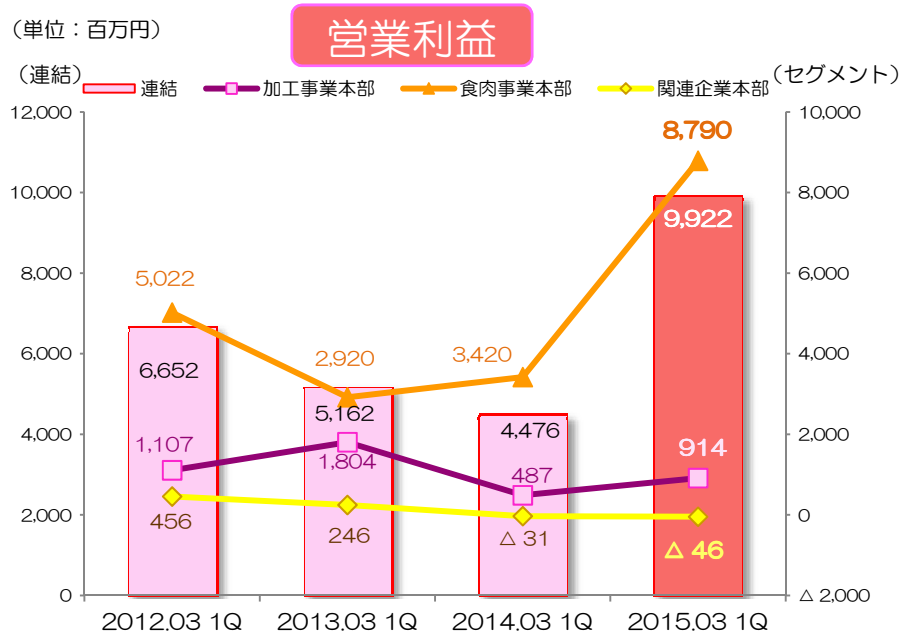
1. オペレーティング・セグメント情報　第1四半期
2. オペレーティング・セグメント情報　加工事業本部
3. オペレーティング・セグメント情報　食肉事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報　関連企業本部
5. 海外　主要所在地別　業績実績
6. 海外　主要所在地別　外部顧客売上高実績

1. オペレーティング・セグメント情報　第1四半期

（単位：百万円）

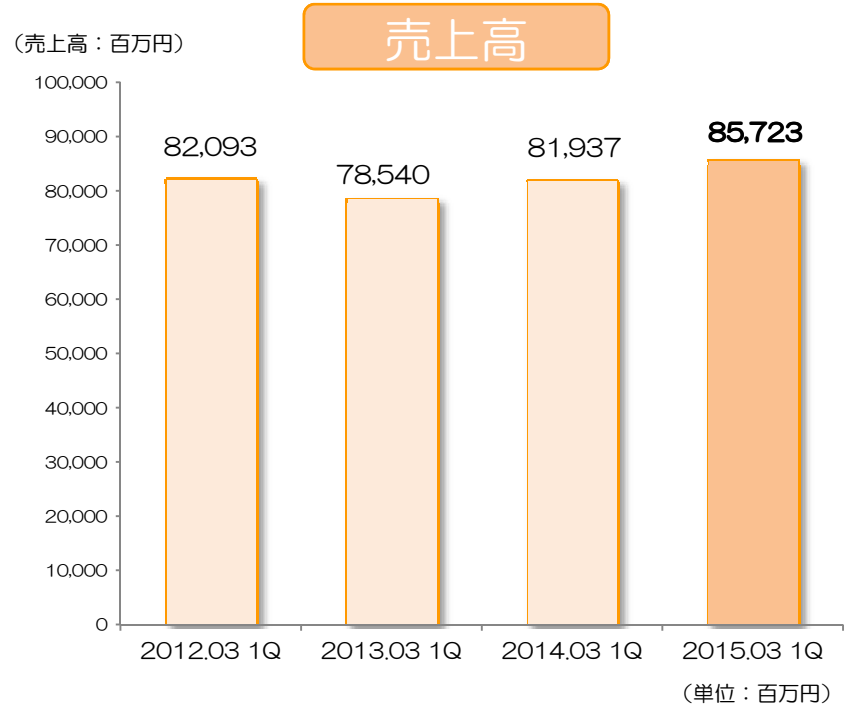
		2012.03 1Q	2013.03 1Q	2014.03 1Q	2015.03 1Q
加工事業本部	売上高	82,093	78,540	81,937	85,723
	営業利益	1,107	1,804	487	914
食肉事業本部	売上高	172,270	162,788	185,574	200,252
	営業利益	5,022	2,920	3,420	8,790
関連企業本部	売上高	31,570	32,514	33,865	35,542
	営業利益	456	246	△ 31	△ 46
消去調整他	売上高	△ 34,626	△ 30,899	△ 35,725	△ 37,666
	営業利益	67	192	600	264
連結合計	売上高	251,307	242,943	265,651	283,851
	営業利益	6,652	5,162	4,476	9,922



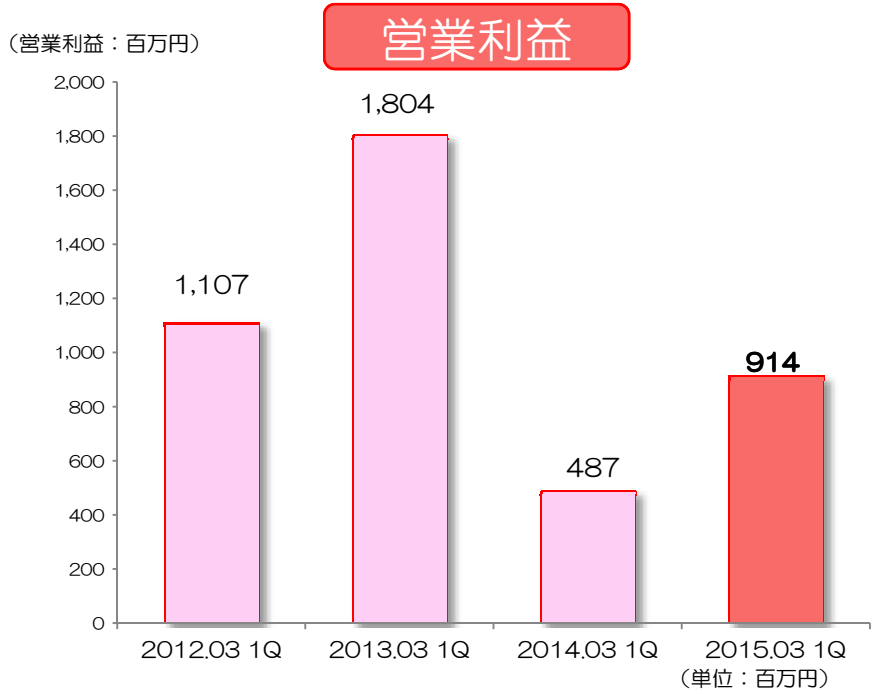


※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P.20の品種別の売上高の数値とは一致しません。
※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

2. オペレーティング・セグメント情報　加工事業本部①



	2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
売上高	81,937	85,723	3,786	4.6



	2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
営業利益	487	914	427	87.7
営業利益率	0.6%	1.1%	-	-

【第1四半期の売上状況】
・ハム・ソーセージは、『シャウエッセン』が好調に推移し、金額、数量ともに伸長。

・デリ商品は、コンシューマ商品が伸び悩んだものの、カレー等の常温商品と業務用商品が伸長。

【第1四半期の収支状況】
・原材料価格の上昇があったものの、『シャウエッセン』の大幅伸長とコスト削減効果により増益。

2. オペレーティング・セグメント情報　加工事業本部②

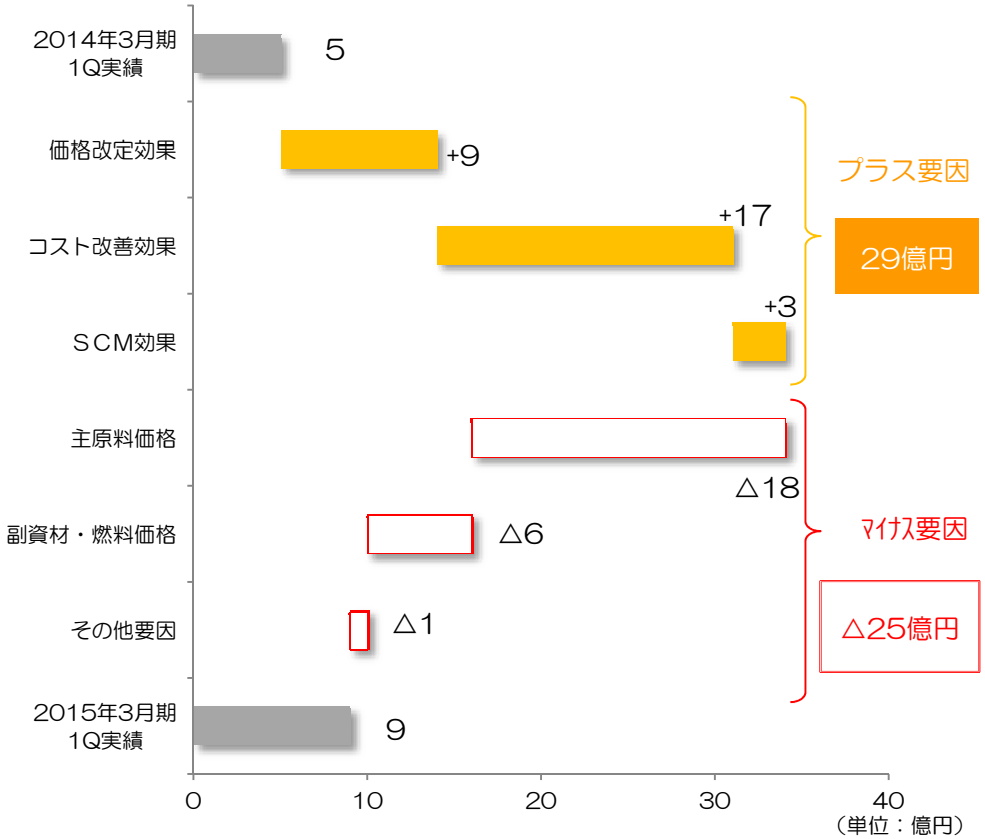
Nipponham Group 人輝く、食の未来

【営業利益増減要因分析】

	2015.03		
	1Q 計画	1Q 実績	計画 差異
価格改定効果	9億円	9億円	0億円
コスト改善効果	10億円	17億円	7億円
ＳＣＭ効果	3億円	3億円	0億円
主原料・副資材要因	△22億円	△24億円	△2億円
（内訳）主原料価格	△16億円	△18億円	△2億円
（内訳）副資材・燃料等	△6億円	△6億円	0億円
その他要因	0億円	△1億円	△1億円
合計	0億円	4億円	4億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【1Q営業利益実績の増減要因グラフ】



●計画差異要因分析（1Q）

【コスト改善効果】

⇒主にハム・ソーセージの販売数量増と、コスト改善効果のアップ。

2. オペレーティング・セグメント情報　加工事業本部③

Nipponham Group
人輝く、食の未来

●主要ブランド売上実績

（写真）
「シャウエッセン」

（写真）
「レストラン仕様カレー」
シリーズ

【（参考）　主要ブランド商品売上高実績（対前年同期比）】

ハム・ソーセージ	2015.03 1Q実績	デリ商品	2015.03 1Q実績
シャウエッセン	118%	石窯工房群	97%
森の薫りあらびきｳｲﾝﾅｰ	99%	中華名菜群	91%
ロースハム群	102%	プリフライ群	98%
ベーコン群	106%	ﾊﾝﾊﾞｰｸﾞ・ﾐｰﾄﾎﾞｰﾙ群	101%
焼豚群	87%	カレー群	109%

●チャネル別売上実績

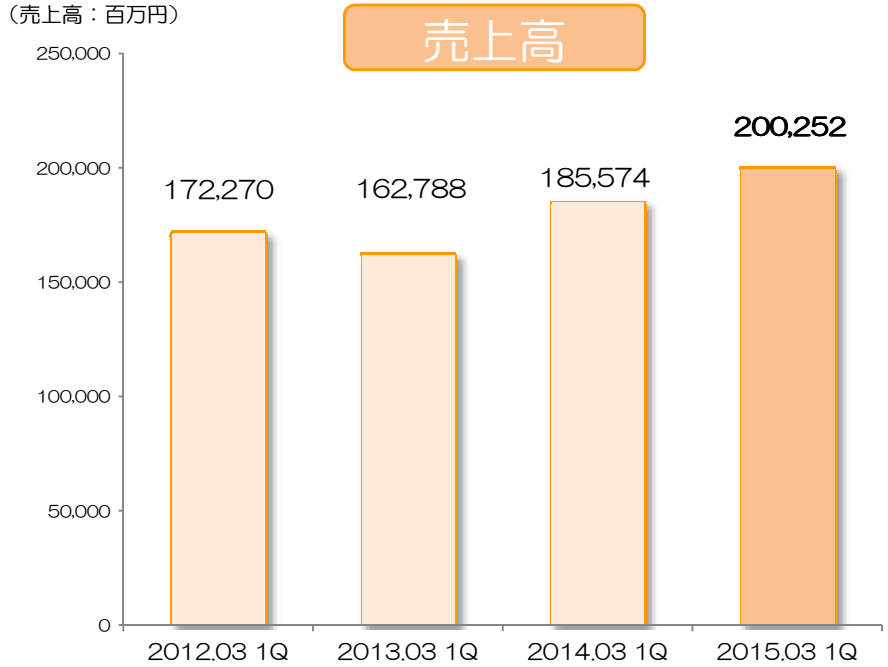
①コンシューマ商品
ハム・ソーセージは、堅調に推移。
デリ商品はカレーなどの常温群が
好調。

②業務用商品
デリカチャネルで苦戦したものの、
外食チャネルが伸長。

【（参考）2015年3月期1Q　チャネル別伸び率（対前年同期比）】

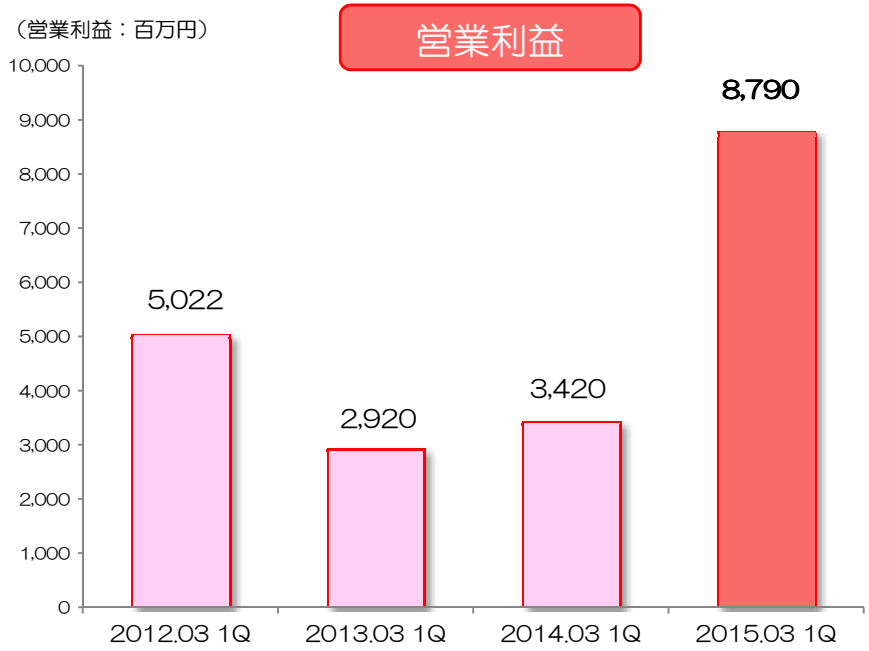
		数量	金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	108%	113%
	業務用	109%	110%
	合計	108%	112%
デリ商品	コンシューマ	95%	100%
	業務用	99%	105%
	合計	97%	102%

3. オペレーティング・セグメント情報　食肉事業本部①



（単位：百万円）

	2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
売上高	185,574	200,252	14,678	7.9



（単位：百万円）

	2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
営業利益	3,420	8,790	5,370	157.0
営業利益率	1.8%	4.4%	-	-

【第1四半期の売上状況】
・国内食肉販売は、牛肉・豚肉の販売数量は減少したが、販売単価上昇により、増収。

・海外における食肉販売は、主に豚肉は販売数量が低迷したが、販売単価の上昇により、増収。

【第1四半期の収支状況】
・主に、国内ファーム事業、輸入食肉市況、豪州事業及び米州事業の改善により、増益。

3. オペレーティング・セグメント情報　食肉事業本部②

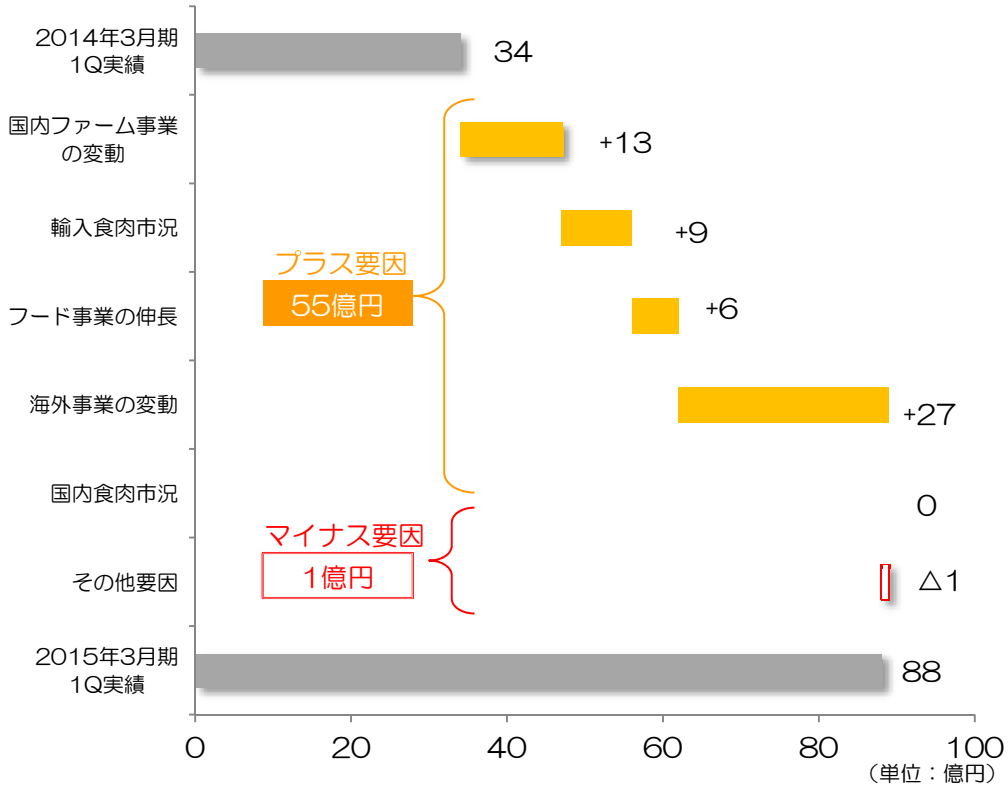
Nipponham Group 人輝く、食の未来

【営業利益増減要因分析】

	2015.03		
	1Q 計画	1Q 実績	計画 差異
国内ファーム事業の変動	17億円	13億円	△4億円
輸入食肉市況	△１億円	9億円	10億円
フード事業の伸長	4億円	6億円	2億円
海外事業の変動	16億円	27億円	11億円
国内食肉市況	0億円	0億円	0億円
その他要因	0億円	△1億円	△1億円
合計	36億円	54億円	18億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

【1Q営業利益実績の増減要因グラフ】



●計画差異要因分析（1Q）

【輸入食肉市況】

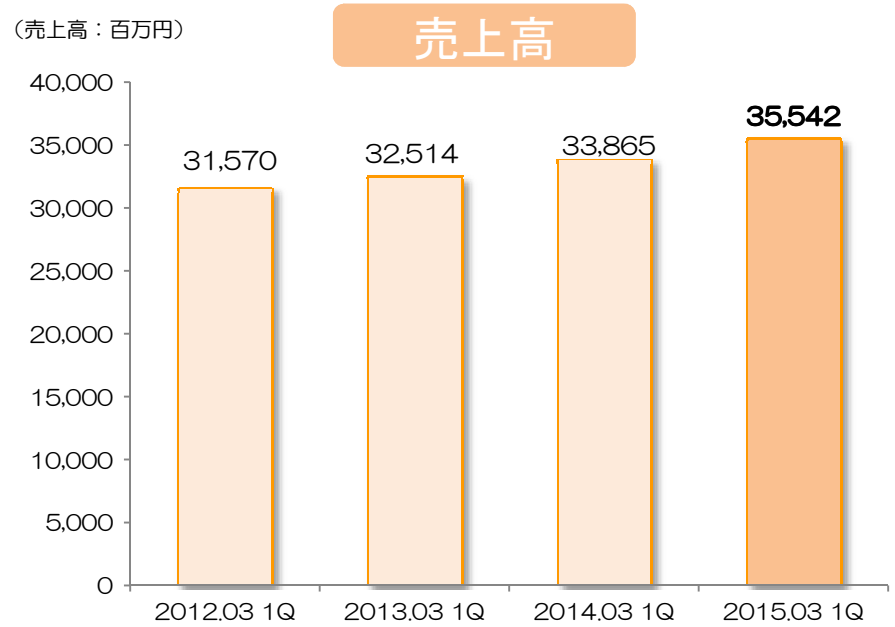
⇒牛・豚・鶏の３畜種全てにおいて販売単価が上がり、収益が改善。

【海外事業の変動】

⇒豪州事業においては、輸出が堅調で、計画を上回る収益を計上。

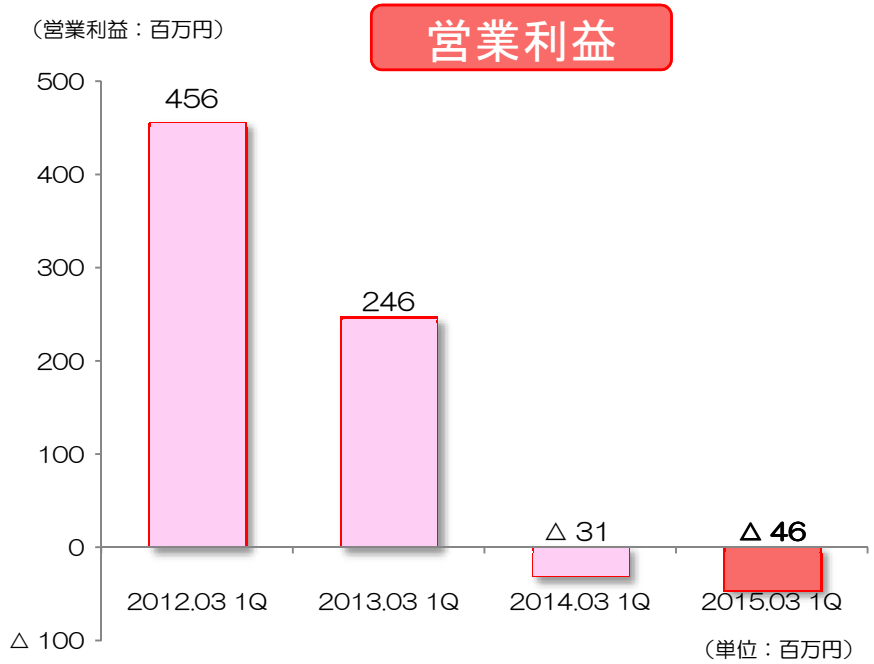
4. オペレーティング・セグメント情報　関連企業本部

Nipponham Group
人輝く、食の未来



（単位：百万円）

	2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
売上高	33,865	35,542	1,677	5.0



（単位：百万円）

	2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
営業利益	△ 31	△ 46	△ 15	-
営業利益率	-	-	-	-

【第1四半期の売上状況】
（水産事業）
・相場高により販売数量は減少したものの、販売単価の上昇により、微増。

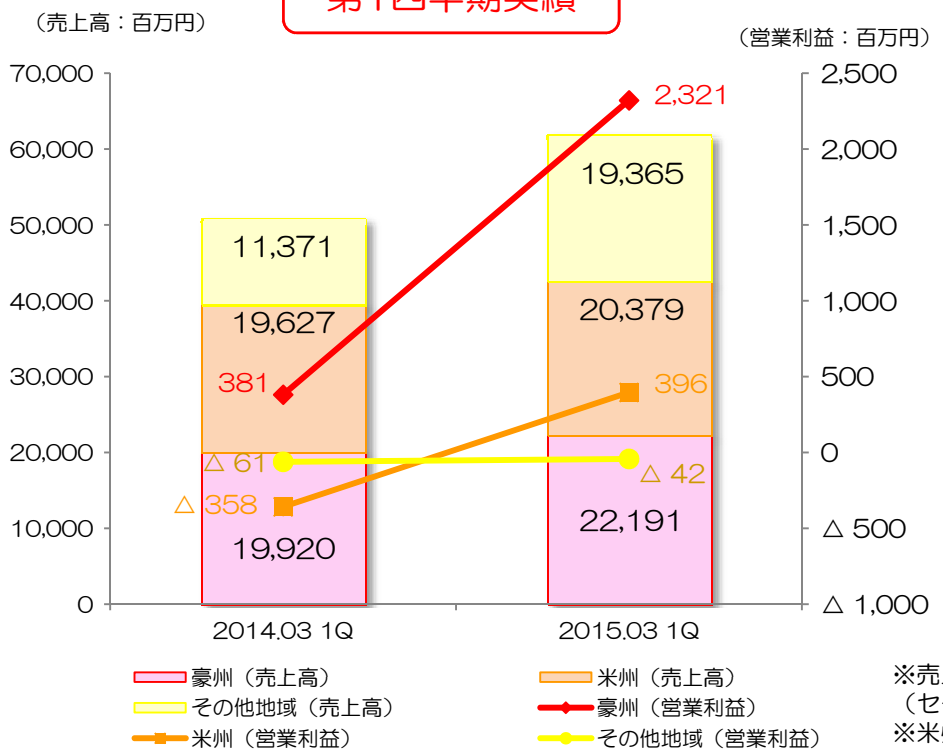
（乳製品事業）
・ヨーグルト事業において、販売促進の強化やＣＶＳ向けＰＢ商品の伸長により増収。

【第1四半期の収支状況】
（水産事業）
・売上数量の落込みによる粗利益の減少、運賃等の経費の上昇から減益。

（乳製品事業）
・ヨーグルト事業においては売上高の伸長により増益となったもののチーズ事業の原料価格高騰による粗利益の低下により減益。

5. 海外　主要所在地別 業績実績

第1四半期実績



（単位：百万円）

		2014.03 1Q	2015.03 1Q	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	49,868	60,183	10,315	20.7
	営業利益	△ 90	2,617	2,707	-
豪州	売上高	19,920	22,191	2,271	11.4
	営業利益	381	2,321	1,940	509.2
米州	売上高	19,627	20,379	752	3.8
	営業利益	△ 358	396	754	-
その他地域	売上高	11,371	19,365	7,994	70.3
	営業利益	△ 61	△ 42	19	-

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。
（セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません）
※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

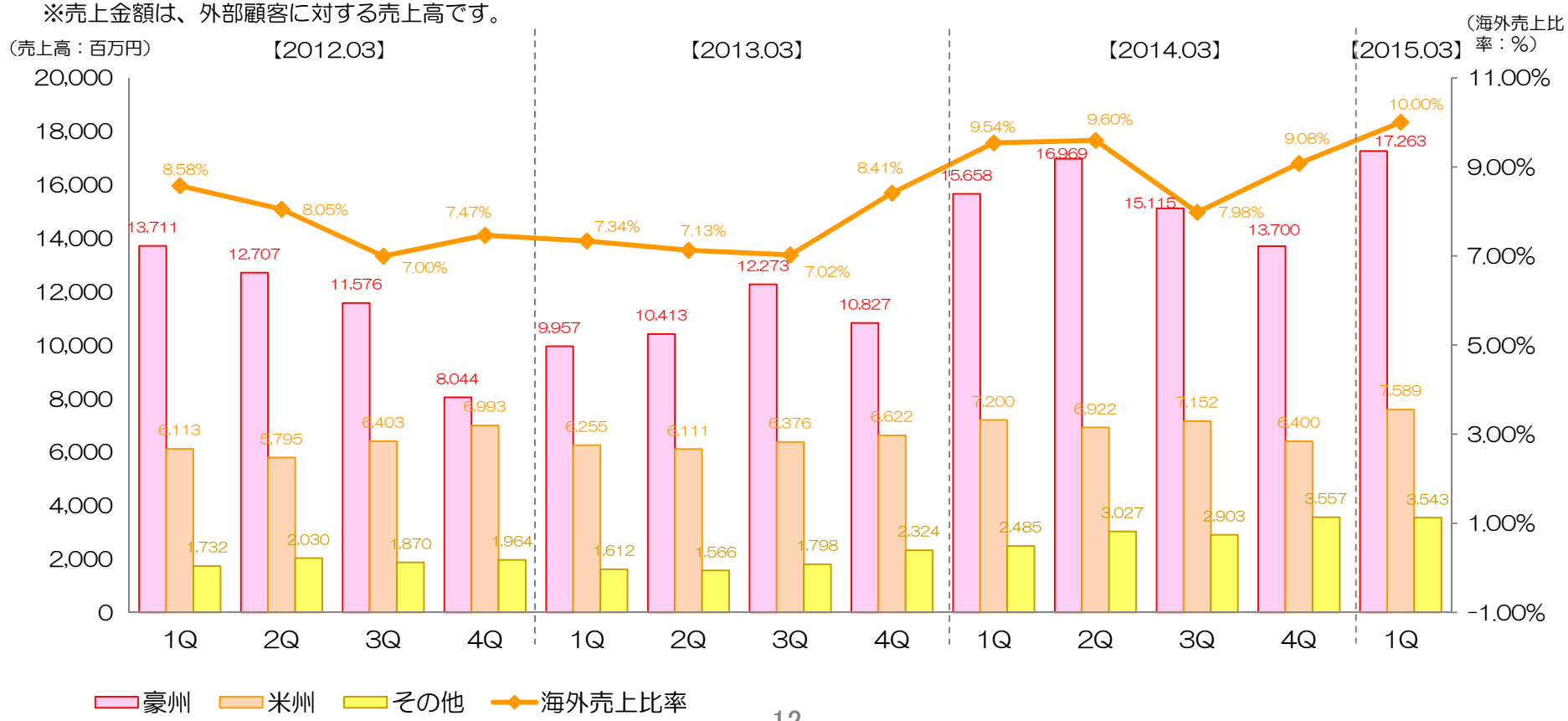
【第1四半期の状況】
（豪州）
・米国、ＡＳＥＡＮへの輸出が堅調で、増収増益。
（米州）
・米国内の豚相場が堅調であり、ファーム事業の収益改善等により、増収増益。
（アジア）
・中国、タイを中心に売上数量が伸長し、増収増益。

6. 海外　主要所在地別 外部顧客売上高実績

（単位：百万円）

	2012.03	2013.03	2014.03					2015.03
	通期	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
豪州	46,038	43,470	15,658	16,969	15,115	13,700	61,442	17,263
米州	25,304	25,364	7,200	6,922	7,152	6,400	27,674	7,589
その他	7,596	7,300	2,485	3,027	2,903	3,557	11,972	3,543
海外計	78,938	76,134	25,343	26,918	25,170	23,657	101,088	28,395
海外売上比率	7.76%	7.44%	9.54%	9.60%	7.98%	9.08%	9.01%	10.00%

※売上金額は、外部顧客に対する売上高です。



Ⅱ．2015年3月期の見通し

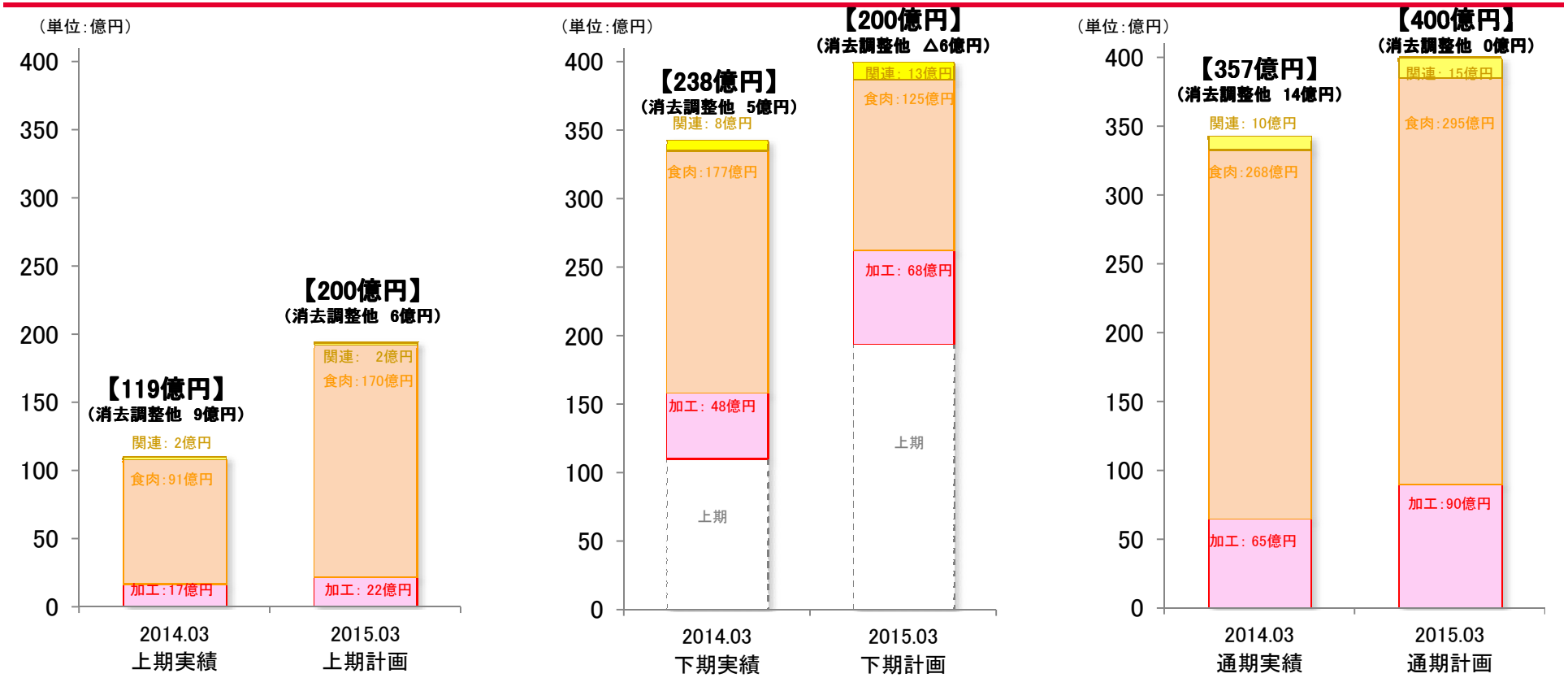
1．　2015年3月期　営業利益計画

2．　2015年3月期計画（加工事業本部）

3．　2015年3月期計画（食肉事業本部）

4．　2015年3月期計画（関連企業本部）

1. 2015年3月期　営業利益計画①



	2015.03 上期計画			2015.03 下期計画			2015.03 通期計画		
	2014.03 上期実績		増減	2014.03 下期実績		増減	2014.03 通期実績		増減
加工事業本部	17億円	**22億円**	5億円	48億円	**68億円**	20億円	65億円	**90億円**	25億円
食肉事業本部	91億円	**170億円**	79億円	177億円	**125億円**	△52億円	268億円	**295億円**	27億円
関連企業本部	2億円	**2億円**	0億円	8億円	**13億円**	5億円	10億円	**15億円**	5億円
消去調整他	9億円	**6億円**	△3億円	5億円	**△6億円**	△11億円	14億円	**0億円**	△14億円
合計	119億円	**200億円**	81億円	238億円	**200億円**	△38億円	357億円	**400億円**	43億円

1．2015年3月期　営業利益計画②

Nipponham Group 人輝く、食の未来

【第1Q時見直し計画との差異】

※上期、下期及び通期計画については、第1四半期後に見直した計画となっています。

	2015.03 1Q実績			2015.03 上期計画			2015.03 下期計画			2015.03 通期計画		
	期初計画		計画差	期初計画		計画差	期初計画		計画差	期初計画		計画差
加工事業本部	5億円	**9億円**	4億円	23億円	**22億円**	△1億円	77億円	**68億円**	△9億円	100億円	**90億円**	△10億円
食肉事業本部	70億円	**88億円**	18億円	145億円	**170億円**	25億円	135億円	**125億円**	△10億円	280億円	**295億円**	15億円
関連企業本部	2億円	**0億円**	△2億円	7億円	**2億円**	△5億円	13億円	**13億円**	0億円	20億円	**15億円**	△5億円
消去調整他	3億円	**2億円**	△1億円	5億円	**6億円**	1億円	△5億円	**△6億円**	△1億円	0億円	**0億円**	0億円
合計	80億円	**99億円**	19億円	180億円	**200億円**	20億円	220億円	**200億円**	△20億円	400億円	**400億円**	0億円

※四捨五入による、数値の和・差と合計が一致しない場合は、消去調整他で調整しています。

【営業利益計画　増減要因分析】

【　加工事業　】	第1Q時見直し計画との差異					
	上期		下期		通期	
	計画	計画差	計画	計画差	計画	計画差
価格改定効果	15億円	0億円	12億円	0億円	27億円	0億円
コスト改善効果	30億円	8億円	32億円	5億円	62億円	13億円
SCM効果	6億円	△1億円	7億円	1億円	13億円	0億円
主原料・副資材要因	△45億円	△7億円	△31億円	△15億円	△76億円	△22億円
（内訳）主原料価格	△34億円	△8億円	△25億円	△15億円	△59億円	△23億円
（内訳）副資材・燃料等	△11億円	1億円	△6億円	0億円	△17億円	1億円
その他	△1億円	△1億円	0億円	0億円	△1億円	△1億円
合計	5億円	△1億円	20億円	△9億円	25億円	△10億円

【　食肉事業　】	第1Q時見直し計画との差異					
	上期		下期		通期	
	計画	計画差	計画	計画差	計画	計画差
国内ファーム事業の変動	16億円	△14億円	△10億円	△5億円	6億円	△19億円
輸入食肉市況	20億円	10億円	4億円	0億円	24億円	10億円
海外事業の変動	36億円	29億円	△39億円	△1億円	△3億円	28億円
フード事業の伸長	8億円	1億円	2億円	△1億円	10億円	0億円
国内食肉市況	2億円	2億円	△6億円	△3億円	△4億円	△1億円
その他	△3億円	△3億円	△3億円	0億円	△6億円	△3億円
合計	79億円	25億円	△52億円	△10億円	27億円	15億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

2. 2015年3月期計画（加工事業本部）

Nipponham Group 人輝く、食の未来

●ギフト売上拡大施策

・中元、歳暮ギフトともに103%を目標。
（前年比、個数ベース）

・旗艦ブランドの『美ノ国』を中心に、販促展開。　（TVCM、雑誌広告）

（参考）

・『美ノ国』は前年比120%以上を目指す。

【（参考）ギフト販売個数　2014年3月期実績と2015年3月期販売計画】

（単位：千個）

	2014.03 実績		2015.03 計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,075	102%	2,138	103%
歳暮ギフト販売個数	4,675	98%	4,816	103%
合計	6,750	99%	6,954	103%

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

・30周年を迎える『シャウエッセン』を徹底的に販売強化し、決定的な優位性を確立する。

②デリ商品

・『石窯工房』『中華名菜』等、主力商品を集中的に拡販を図る。

【（参考）　主要ブランド商品売上高計画（対前年同期比）】

ハム・ソーセージ	2015.03通期計画	デリ商品	2015.03通期計画
シャウエッセン	108%	石窯工房群	102%
森の薫りあらびきｳｲﾝﾅｰ	100%	中華名菜群	102%
ロースハム群	101%	プリフライ群	100%
ベーコン群	101%	ﾊﾝﾊﾞｰｸﾞ・ﾐｰﾄﾎﾞｰﾙ群	102%
焼豚群	100%	カレー群	102%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

・ハム・ソーセージ、加工食品ともに、商品の集中販売により拡大を図る。

②業務用

・CVS、外食を中心にアイテムを拡大し、販売強化を図る。

【（参考）チャネル別　売上高計画（対前年同期比）】

2015.03 通期計画		金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	103%
	業務用	103%
	合計	103%
デリ商品	コンシューマ	103%
	業務用	103%
	合計	103%

3. 2015年3月期計画（食肉事業本部）

Nipponham Group
人輝く、食の未来

●国内生産事業

①飼料価格

・海外のトウモロコシ価格は落ち着いてきたが、円安の影響もあり今期も高値で推移する見通し。

②国内ファーム事業

・豚肉相場は、海外現地価格高と輸入豚肉の数量減により、国内豚肉への需要が高まり、高値で推移。
・鶏肉相場は、輸入量も在庫量も前年を下回り、豚肉の高騰も影響して、高値安定で推移する見通し。

●海外事業

①豪州

・原価低減による利益率の改善と、ブランド商品の拡販を図る。
・ASEAN、中国、ロシア、中東に対し、豪州産牛肉販売を強化。

②米州

・米州のPEDは2月をピークに治まってきているが豚枝肉相場は急騰。相場が前年より高値で推移する見通し。

③その他（欧州・アジア）

・欧州は、日本向けに「デンマーク」、「ドイツ」、「イタリア」、「スペイン」産の豚肉を販売強化。

【（参考）　2015.03　1Q　豪州事業販売実績】

主な販売先国	数量構成比	数量（昨年比）
日本	18%	82%
米国	23%	160%
韓国	12%	100%
中国	8%	90%
台湾	7%	115%
豪州国内	22%	89%
その他※	10%	85%
合計	100%	100%

※その他・・・ロシア、EU、インドネシア・・・等

●国内食肉、輸入食肉、食肉販売（フード会社）

・強い調達力と販売力を活かし、収益拡大を図る。
・『ワイアリーフ』、『けんこう豚』、『桜姫』などのブランド食肉の販売を強化し収益構造を改善。

4.　2015年3月期計画（関連企業本部）

Nipponham Group
人輝く、食の未来

●水産事業の売上拡大施策

（マリンフーズ）

・利益率の高い自社商品の開発とメニュー提案等の店頭販促の強化。

・釧路丸水㈱のブランド力を活かし、北海道産原料を活用した商品の開発と販売を強化。

（宝幸）

・常温食品事業（缶詰）は、商品開発・販売促進を強化し、八戸工場製品の拡販を図る。

（写真）野菜とあえる珍味シリーズ
『塩麹サーモン』

（写真）釧路丸水㈱
『旨味たこ』

●乳製品事業の売上拡大施策

（チーズ）

・ベビーチーズのアイテムを拡充し、コンシューマ商品拡販を図る。

・得意先に対するきめ細かい提案を強化し、業務用チャネルの売上伸長を図る。

（ヨーグルト）

・提案営業による特徴ある高付加価値商品の導入。

・CVS向けPB商品の開発と拡販。

●主原料・副資材価格の動向

・チーズ原料は、新興国の買付が一服したものの高値圏で推移。

・ヨーグルト原料は、国内の生産量の減少による在庫減により上昇。

（写真）日本ルナ「アサイーミックスドリンクヨーグルト」

（写真）ロルフ「おとなのベビーチーズ（梅しそ味）」

Ⅲ．2015年3月期　第1四半期財務データ

1．2015年3月期連結業績概要及び通期計画

2．連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報

3．販管費、その他の営業費用、その他の収益

4．連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

1. 2015年3月期連結業績概要及び通期計画

Nipponham Group 人輝く、食の未来

（単位：百万円、%）

	2014年3月期実績				2015年3月期実績及び計画					
	第1Q 実績	前年比	上期 累計実績	通期 累計実績	第1Q 実績	前年比	上期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
売上高	265,651	9.3	546,191	1,122,097	283,851	6.9	575,000	5.3	1,140,000	1.6
ハム・ソーセージ	31,965	0.5	67,393	143,490	35,402	10.8	72,500	7.6	149,000	3.8
加工食品	50,111	3.0	102,695	208,084	51,898	3.6	103,500	0.8	209,000	0.4
食肉	149,280	14.0	304,067	619,333	160,289	7.4	324,500	6.7	635,000	2.5
牛肉	61,257	25.9	125,741	249,585	62,869	2.6	128,000	1.8	251,500	0.8
豚肉	52,965	6.6	107,240	218,288	56,728	7.1	114,000	6.3	226,500	3.8
鶏肉	30,278	8.9	60,921	131,392	35,000	15.6	70,500	15.7	136,000	3.5
その他食肉	4,780	1.0	10,165	20,068	5,692	19.1	12,000	18.1	21,000	4.6
水産	19,991	5.7	43,040	91,809	20,659	3.3	42,000	△ 2.4	92,000	0.2
乳製品	6,651	2.3	13,242	26,253	7,191	8.1	15,000	13.3	27,000	2.8
その他	7,653	24.2	15,754	33,128	8,412	9.9	17,500	11.1	28,000	△ 15.5
売上原価	219,700	11.4	451,165	918,304	232,551	5.8				
売上総利益	45,951	0.6	95,026	203,793	51,300	11.6				
売上総利益率	17.3%	-	17.4%	18.2%	18.1%	-				
販売費及び一般管理費	41,475	2.4	83,091	168,093	41,378	△ 0.2				
営業利益	4,476	△ 13.3	11,935	35,700	9,922	121.7	20,000	67.6	40,000	12.0
税引前利益	4,583	10.7	10,689	35,303	8,931	94.9	18,600	74.0	37,000	4.8
当社株主帰属当期純利益	3,197	66.2	7,620	24,524	6,592	106.2	13,000	70.6	24,000	△ 2.1

＊米国会計基準を組替えて表示しております。

＊前年比は、対前年増減率で表示しております。

2. 連結売上区分別伸び率、所在地別セグメント情報

Nipponham Group 人輝く、食の未来

（単位：%）

【連結売上区分別伸び率】

区分	2014年3月期　第1四半期（対前年同期比）		2015年3月期　第1四半期（対前年同期比）	
	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	△ 0.7	0.5	7.4	10.8
加工食品	3.4	3.0	△ 2.1	3.6
食肉	2.9	14.0	△ 6.4	7.4
牛肉	18.2	25.9	△ 8.6	2.6
豚肉	△ 2.9	6.6	△ 14.1	7.1
鶏肉	△ 0.5	8.9	4.5	15.6
その他食肉	△ 4.6	1.0	2.8	19.1

【所在地別セグメント状況】

（単位：百万円、%）

	2014年3月期実績			2015年3月期実績及び計画					
	第1Q 実績	上期 累計実績	通期 累計実績	第1Q 実績	前年比	上期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
国内売上高	240,519	494,479	1,022,022	255,735	6.3	518,600	4.9	1,037,600	1.5
外部顧客売上高	240,308	493,930	1,021,009	255,456	6.3	518,000	4.9	1,036,500	1.5
セグメント間内部売上高	211	549	1,013	279	32.2	600	9.3	1,100	8.6
国内営業利益	4,421	9,187	28,504	7,131	61.3	13,300	44.8	32,630	14.5
国内売上高営業利益率	1.8%	1.9%	2.8%	2.8%	-	2.6%	-	3.1%	-
海外売上高	49,868	105,424	209,188	60,183	20.7	120,700	14.5	212,500	1.6
外部顧客売上高	25,343	52,261	101,088	28,395	12.0	57,000	9.1	103,500	2.4
セグメント間内部売上高	24,525	53,163	108,100	31,788	29.6	63,700	19.8	109,000	0.8
海外営業利益	△ 90	2,765	7,257	2,617	-	6,700	142.3	7,370	1.6
海外売上高営業利益率	-	2.6%	3.5%	4.3%	-	5.6%	-	3.5%	-

＊所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

＊前年比は、対前年増減率で表示しております。

3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

Nipponham Group 人輝く、食の未来

（単位：百万円、%）

	≪販管費≫	2014年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 対前年増減率	2015年3月期 対前年増減額
★①	販売費および一般管理費	41,475	41,378	△ 0.2	△ 97
	人件費	16,575	16,625	0.3	50
★②	広告宣伝費	2,658	2,748	3.4	90
★③	物流費	12,009	12,126	1.0	117
	その他	10,233	9,879	△ 3.5	△ 354

主な増減要因

★① 販管費	売上高販管費率は 15.6% から 14.6% へと 1.0ポイント低下。
★② 広告宣伝費	広告宣伝費は販促費の増加など1億円の増加。
★③ 物流費	売上数量拡大により物流費など1億円の増加。

（単位：百万円）

		2014年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 対前年増減額	2014年3月期 通期実績
	その他の営業費用及び（△収益）-純額	274	269	△ 5	686
	固定資産関連	274	269	△ 5	543
	その他	-	-	-	143
★①	その他の収益及び（△費用）-純額	736	△ 334	△ 1,070	1,791
	受取利息・配当金	358	403	45	1,095
	為替差損益	671	△ 734	△ 1,405	1,063
	その他	△ 293	△ 3	290	△ 367
	支払利息	355	388	33	1,502

主な増減要因

★①その他の収益及び（△費用）-純額	為替差損益等の影響により、約11億円の悪化。

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Nipponham Group 人輝く、食の未来

（単位：百万円、%）

	≪連結貸借対照表≫	2014年3月期 期末実績	2015年3月期 第1四半期実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	627,220	654,007	4.3	26,787
	現金及び現金同等物	74,928	68,845	△ 8.1	△ 6,083
★②	売上債権	118,141	120,111	1.7	1,970
★③	棚卸資産	122,115	147,330	20.6	25,215
	有形固定資産	236,669	240,014	1.4	3,345
	投資及びその他の資産	34,267	35,620	3.9	1,353
	長期繰延税金資産	10,091	9,956	△ 1.3	△ 135
	負債合計	303,245	330,949	9.1	27,704
	支払手形及び買掛金	97,353	108,404	11.4	11,051
★④	有利子負債	144,963	152,251	5.0	7,288
	退職金及び年金債務	12,584	12,793	1.7	209
	当社株主資本	320,984	320,116	△ 0.3	△ 868
	非支配持分	2,991	2,942	△ 1.6	△ 49
	資本合計	323,975	323,058	△ 0.3	△ 917

主な増減要因

★①	資産合計	②③を含めて約268億円の増加。
★②	売上債権	売上増及び消費増税により前期末比、約20億円の増加。
★③	棚卸資産	主に食肉の増加により前期末比、約252億円の増加。
★④	有利子負債	短期借入金増により、約73億円の増加。

（単位：百万円、%）

≪設備投資額、減価償却費≫	2014年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 対前年増減率	2015年3月期 対前年増減額	2015年3月期 通期計画
設備投資額	3,470	8,153	135.0	4,683	49,200
生産設備	1,399	5,977	327.2	4,578	25,000
販売・物流設備	509	612	20.2	103	6,600
ﾌｧｰﾑ・処理設備	885	782	△ 11.6	△ 103	10,500
海外事業設備	309	558	80.6	249	4,500
その他設備	368	224	△ 39.1	△ 144	2,600
減価償却費	4,616	4,640	0.5	24	19,700

お問合せ先
〒141-6014　東京都品川区大崎2－1－1
ＴｈｉｎｋＰａｒｋ　Ｔｏｗｅｒ　14階
日本ハム株式会社　広報ＩＲ部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。
従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。